DK MB100D MB100L メイルボックス（郵便受箱）

取扱説明書

このたびは、大建メイルボックスをご購入いただきありがとうございました。
正しくお取扱いいただくため、ご使用の前に、この説明書をよくお読みください。
この説明書は、ご使用になる方がいつでもご覧になれるように必ず保管してください。

⚠ ご注意

扉にぶら下がったり、うえに上がらないでください。

扉にぶら下がったりすると、扉が変形したり、破損することがあり、思わぬ怪我をすることがあります。
特に、子供の遊びにご注意ください。

貴重品・重要書類・危険物・生物等は保管しないでください。

一般郵便物の受箱として設計されていますので、貴重品の受取りや保管に適しておりません。
お部屋の鍵も入れないでください。意図的な盗難やいたずらに対応できません。

扉を閉めるときは静かに閉めてください。

あまり乱暴に閉めると、音が隣戸に響き迷惑になります。また、鍵の故障の原因にもなります。

扉は開け放しにしないでください。

扉を開けたままにすると、歩行者が扉に当たって危険です。郵便物を取出した後は必ず扉を閉めて施錠してください。

郵便物を取出した後は必ず施錠してください。

郵便物の盗難やいたずら防止の他に扉の開け放しの防止にもなりますので、必ず施錠してください。
特に台風、強風時には施錠を確認してください。

すみやかに郵便物を取出してください。

郵便物がたまり、詰め込みすぎますと鍵が開かなくなったり、投入口の扉の破損や作動異常の原因となります。

郵便受箱の上に物をのせないでください。

郵便受箱の上に重量物を載せると、箱が変形して扉の開閉作動ができないことがあります。

多量の郵便物は一度に取り出さないでください。

多量の郵便物を両手で持って一度に取出そうとするとむりな力が手や扉にかかって、思わぬ怪我をしたり、故障の原因になります。

定期的にお手入れをしてください。

常に正常な状態を保つよう定期的なお手入れが必要です。

お手入れ方法

日常のお手入れは、柔らかい布でから拭きしてください。
汚れのひどい場合は、中性洗剤を含ませた布で拭いた後、洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、クレンザー、タワシなどを使って清掃することはお避けください。変色、キズ、塗装はくり等の原因になります。

1. 製品規格

本体の材質　ステンレス SUS304　NO.4仕上　厚さ 0．7mm
扉の材質　　アルミダイカスト ADC12　アクリル焼付塗装仕上
鍵の種別　　ダイヤル錠又はラッチロック錠

2. 製品形状

DK MB100D-5
メイルボックス（ダイヤル錠付）5戸用

DK MB100L-4
メイルボックス（ラッチロック錠付）4戸用

3. ダイヤル錠の使用方法

はじめにダイヤルを右へ2回以上回して親番号の数字を目盛りに合せます。
次に親番号の数字の位置からダイヤルを左へ回して子番号の数字を目盛りに合せますと開錠します。
つまみを手前に引くと扉が開きます。施錠する場合は、扉を閉めてダイヤルを1回転以上させてください。
ダイヤル錠の番号は目盛りの位置に確実に合わせてください。位置がずれますと開錠しません。無理に開けますと故障の原因となります。

ダイヤル錠の操作例

親番号　1
子番号　6　の場合

開錠番号シールの表示

右へ2回	⇒ 1
左へ1回	⇒ 6

右へ２回以上回して１に目盛りを合せる。

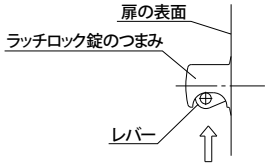
左へ回して６に目盛りを合せると開錠します。

開錠番号シールはメイルボックスに貼付けしてあります。
必ず外して保管してください。この説明書に貼っておくと便利です。

4. ラッチロック錠の使用方法

レバーをつまむと開錠します。扉を開けるときは、レバーをつまんだまま、つまみを手前にひきます。
ラッチロック錠だけでは施錠できません。市販の南京錠（サイズ２０A程度）をレバーに取付してご使用ください。

南京錠を取付けた状態



レバーを矢印方向へ押す
開錠

5. ネームプレートについて

投函口カバーの裏面にネームプレート（紙）が入っています。お名前、室番号などを記入してご使用ください。
＊オプションの室番号シールがあります。

A14112504C

施工説明書

⚠ ご注意

取付工事には手袋を着けて行ってください。

指紋、手垢等の付着防止および怪我防止のため必ず手袋を着用してください。

雨水のかかる場所には設置しないでください。

屋内用の郵便受箱です。防水設計にはなっておりません。

郵便物の取出しに支障のない場所に設置してください。

極端に高い所や低い所には設置しないでください。また、扉の開閉や歩行のスペースが確保できない場所には設置しないでください。

製品取付時に検査、確認をしてください。

製品の取付時に扉の開閉操作に支障がないか、必ず実際に操作してみて確認してください。
ビス類の緩み、締め忘れのないよう必ず検査、確認してください。

取付後の製品に養生を施してください。

製品の取付後に周囲の壁、床などの工事を行う場合は、必ず十分な養生をしてください。

取付方法

郵便受箱を付属の取付ねじ及び連結ビス等を使用して、次の手順により取付けをしてください。

[取付の手順]

（１）壁面に、取付ねじ穴ピッチ図の寸法により、穴開けの位置決めをする。

（２）取付ねじ穴の位置に、ドリルで穴を開ける。開けた穴にプラグを打ち込む。

（３）郵便受箱の扉を開け、製品の内側から取付ねじで仮止めする。
郵便受箱が複数台あるときは、再下段から取付けしてください。
特に支障がないときは、郵便受箱を複数台連結して一体にしてから取付けしてください。

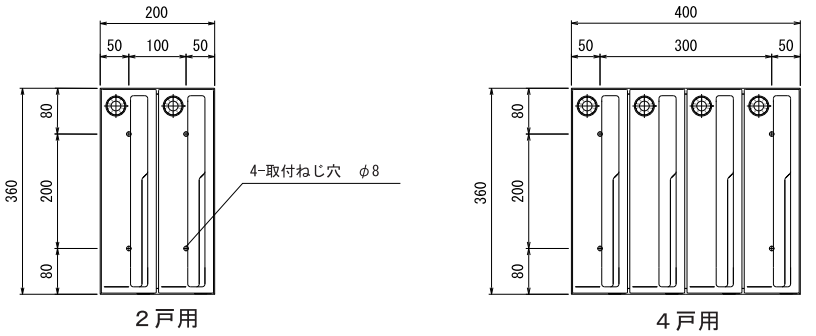
（４）最下段の取付けが終わったら、次の段も同じ方法で繰り返し行い、全数を仮止めする。

（５）上下及び左右の郵便受箱の連結を同時にしてください。

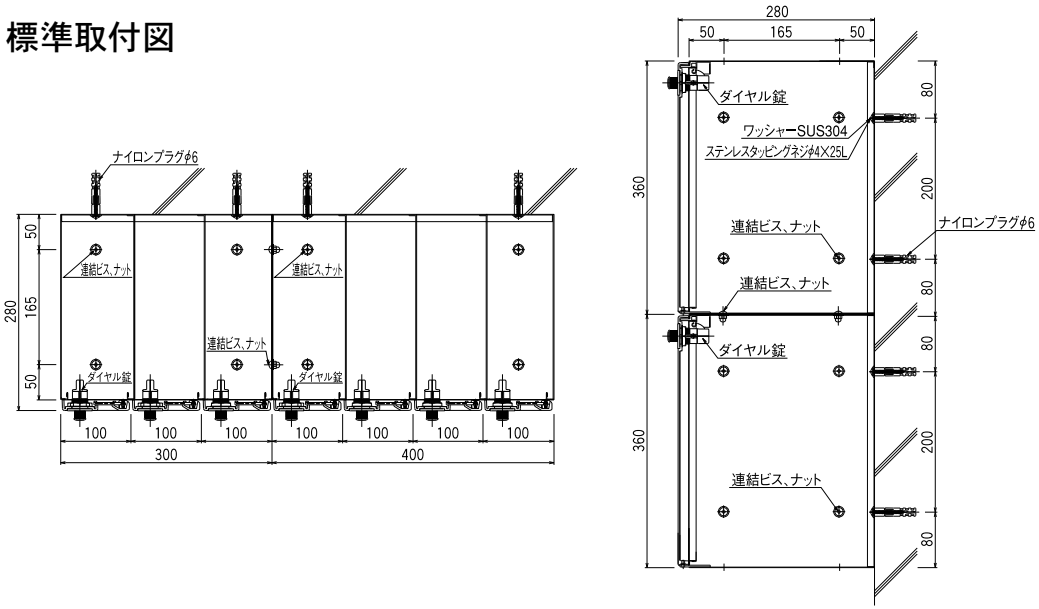
（６）連結が終了の後、仮止めの取付ねじを強固に締め付けしてください。

（７）取付した製品の状態を検査及び確認してください。
製品の天地が逆転していないか、水平、垂直が保たれているか、ビス、ねじ類の締め忘れがないか、扉の開閉操作に支障がないか、ルームナンバーがついている場合、配列は正しいか等々の検査、確認をしてください。
※製品が「歪んで」又は「捻じれて」取付けしてありますと、扉の開閉操作に支障がでたり、その他の故障の原因となりますので、修正してください。

取付ねじ穴ピッチ図



標準取付図



大建プラスチックス株式会社
http://www.daikenplastics.co.jp

本　　社 / 〒577-0805 大阪府東大阪市宝持４丁目２番２１号
TEL：06-6724-0331（代表）FAX：06-6724-0341
E-mail：osaka@daikenplastics.co.jp
東京支店 / 〒134-0086 東京都江戸川区臨海町３丁目６番４号 BECビル5F
TEL：03-3877-7415（代表）FAX：03-3877-7537
E-mail：tokyo@daikenplastics.co.jp

A14112504C